

2024年度1年次9月(2024年4月入学・導入期)

「学びと成長の歩みの記録」アンケート(抜粋版)

「学びと成長の歩みの記録」の概要

立教大学では、2024年度に入学した学生を対象に「学びと成長の歩みの記録」(学修状況調査)のアンケート調査を実施しました。

「学びと成長の歩みの記録」のコンセプトは「学生自らが、[RIKKYO Learning Style](#)の各学修期(「導入期」「形成期」「完成期」)に合わせて自身の学修成果をふりかえり、成長の変化を自覚できること、そして、大学としてその結果を分析・検証し教育の改善に活用すること」です。

今回は2024年度学部1年次入学者(2024年4月入学)を対象に、導入期にあたる1年次春学期終了時点での学修成果等の把握を目的として実施しました。今後、在学中に継続的なアンケート調査を実施し、「導入期」「形成期」「完成期」を通じた学びと成長の過程を追っていきます。

この資料では集計・分析結果の一部を抜粋してご紹介します。アンケート調査にご回答いただいた学生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、今回の結果を踏まえてこれからの教育の改善に活かしていきます。

実施時期：2024年9月2日～2024年10月31日

調査対象：2024年度学部1年次生(2024年4月入学)

調査方法：全数調査(オンライン調査)

調査目的：RIKKYO Learning Styleの「導入期」終了時点での学修成果等の把握を目的として実施することで、立教大学での学びや過ごし方について学生自身がふりかえり、大学としてその結果を教育の改善のために活用すること。

回答数と回答率

対象学生数：4,821名 回答数：2,515名 回答率：52.2%

学部	対象学生数	回答者数	回答率
文学部	890	490	55.1%
経済学部	672	312	46.4%
理学部	272	189	69.5%
社会学部	518	292	56.4%
法学部	579	230	39.7%
経営学部	379	154	40.6%
異文化コミュニケーション学部	206	88	42.7%
GLAP*	25	16	64.0%
観光学部	366	208	56.8%
コミュニティ福祉学部	349	189	54.2%
現代心理学部	335	230	68.7%
スポーツウエルネス学部	230	117	50.9%
合計	4,821	2,515	52.2%

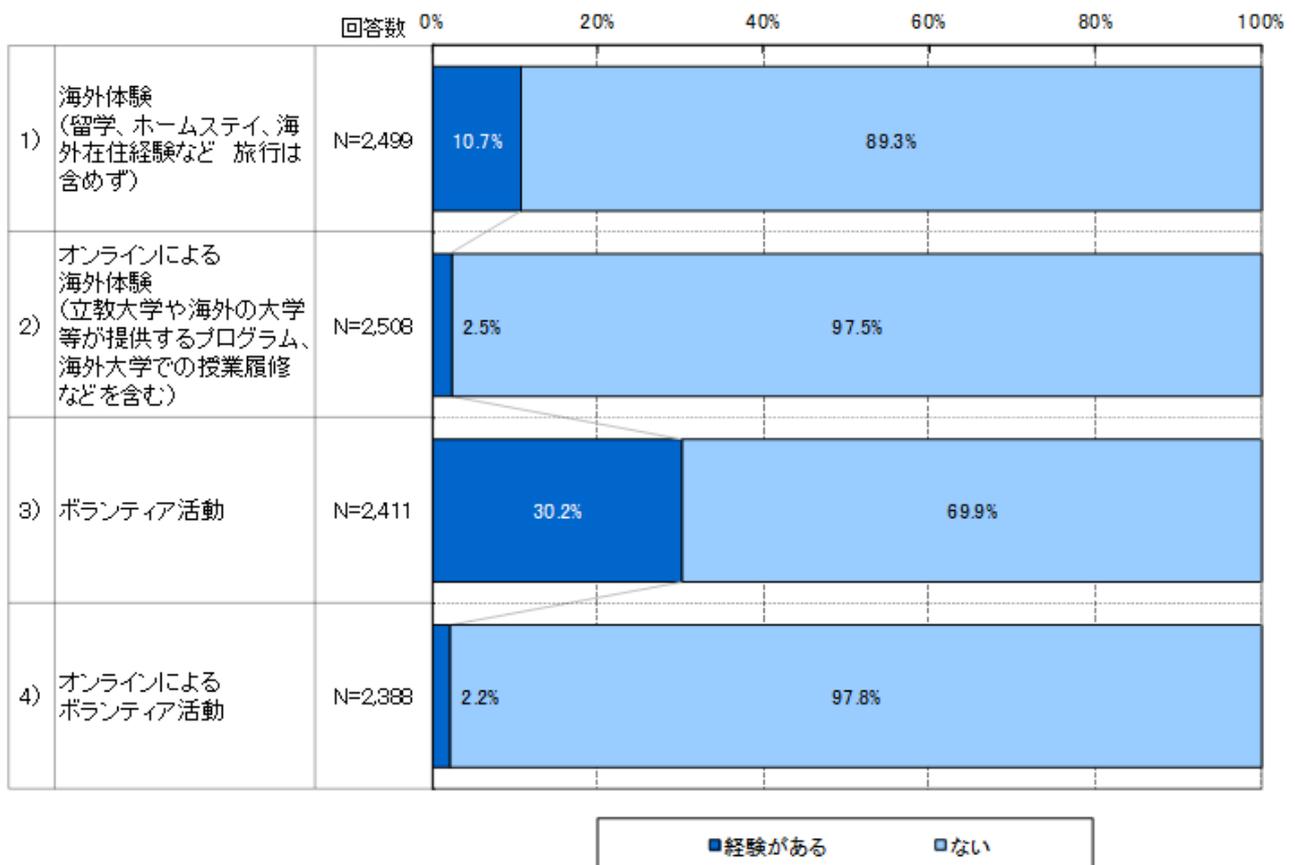
*注) GLAP：グローバル・リベラルアーツ・プログラム

調査結果（抜粋）

本調査で得られた調査・分析結果の概要を抜粋してご紹介します。

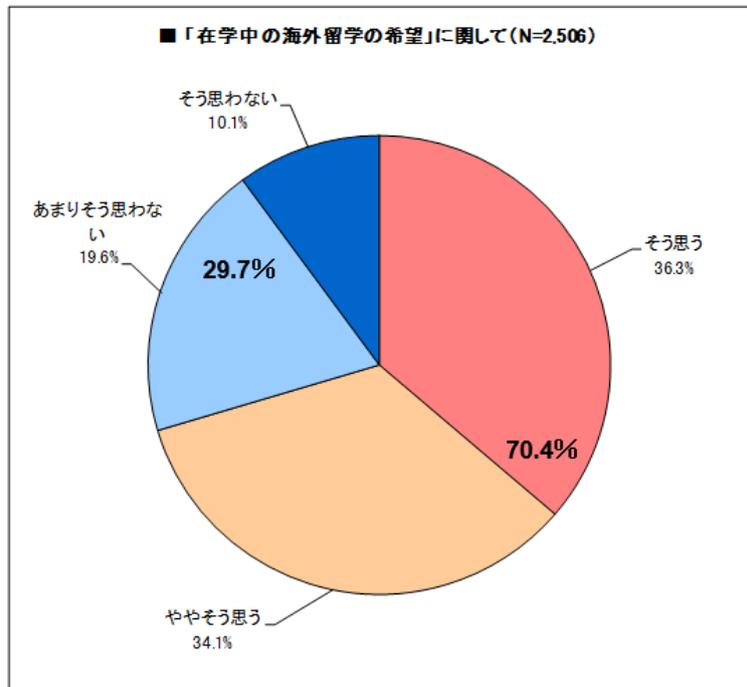
■Q1.1 年次春学期(2024年4月～7月)の経験

- 海外体験を経験した学生は10.7%、オンラインによる海外体験を経験した学生は2.5%、ボランティア活動を経験した学生は30.2%、オンラインによるボランティア活動を経験した学生は2.2%でした。



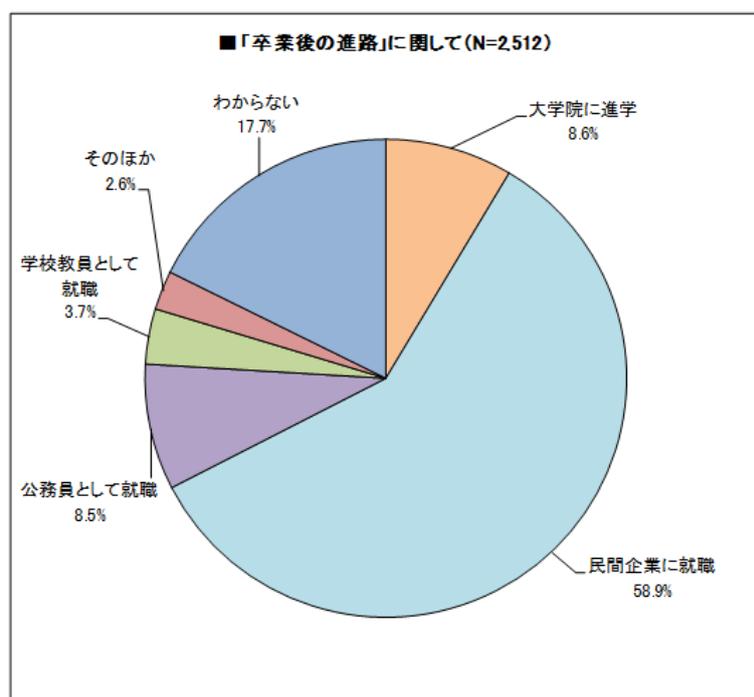
■Q2. 在学中の留学意向

- 在学中の留学に対する意向を尋ねたところ、「そう思う」が 36.3%、「ややそう思う」が 34.1%、「あまりそう思わない」が 19.6%、「そう思わない」が 10.1%で、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、約 7 割の学生が留学したいとされていることがわかりました。



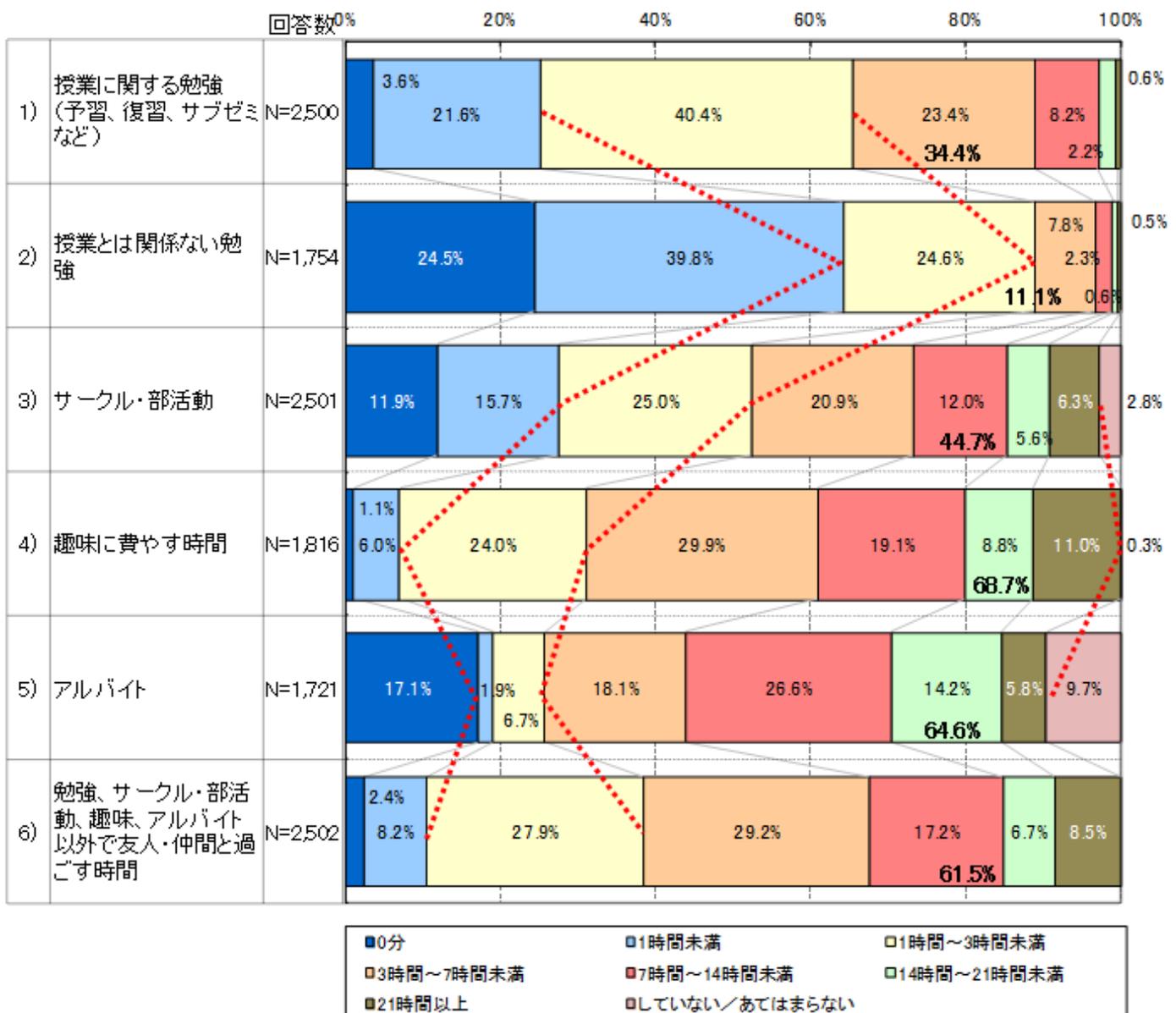
■Q3. 卒業後の進路意向

- 卒業後の進路の意向について尋ねたところ、「民間企業に就職」が最も多く 58.9%、「わからない」が 17.7%、「大学院に進学」が 8.6%と続いていました。



■Q4. 学生生活（1週間あたりに費やした時間）

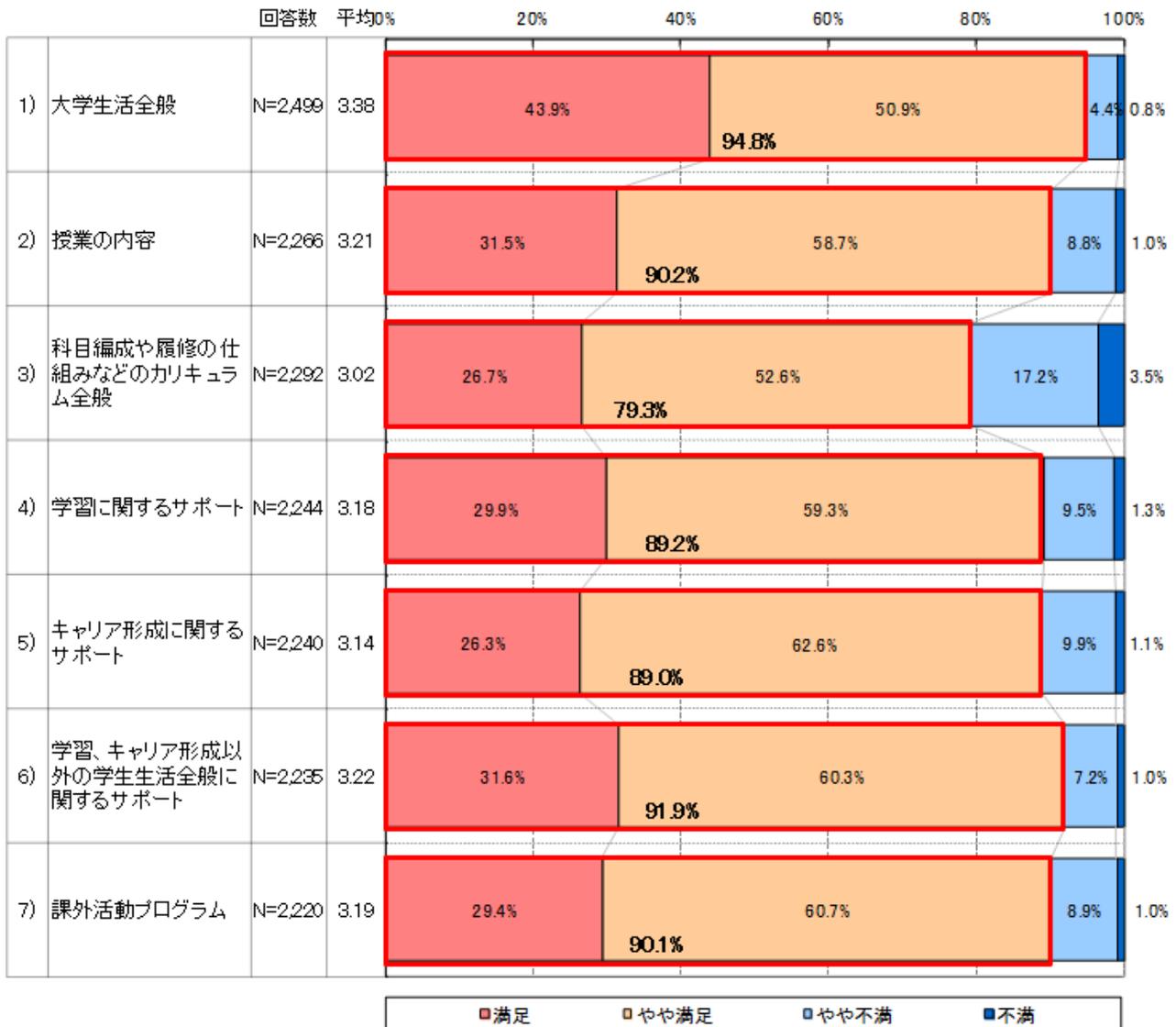
- 春学期にそれぞれの活動に費やした時間（1週間あたりの平均）を尋ねたところ、授業に関する勉強では、「1時間～3時間未満」が最も多く40.4%、次いで「3時間～7時間未満」が23.4%となっていました。授業以外での勉強では、「1時間未満」が最も多く39.8%、次いで「1時間～3時間未満」が24.6%となっていました。
- サークル・部活動では、「1時間～3時間未満」が最も多く25.0%、趣味に費やす時間では、「3時間～7時間未満」が最も多く29.9%、アルバイトでは、「7時間～14時間未満」が最も多く26.6%、これら以外の友人・仲間と過ごす時間では、「3時間～7時間未満」が最も多く29.2%となっていました。



※「1)授業に関する勉強」「2)授業とは関係ない勉強」「6)勉強、サークル・部活動、趣味、アルバイト以外で友人・仲間と過ごす時間」の質問には「していない/あてはまらない」という選択肢は用意していません。

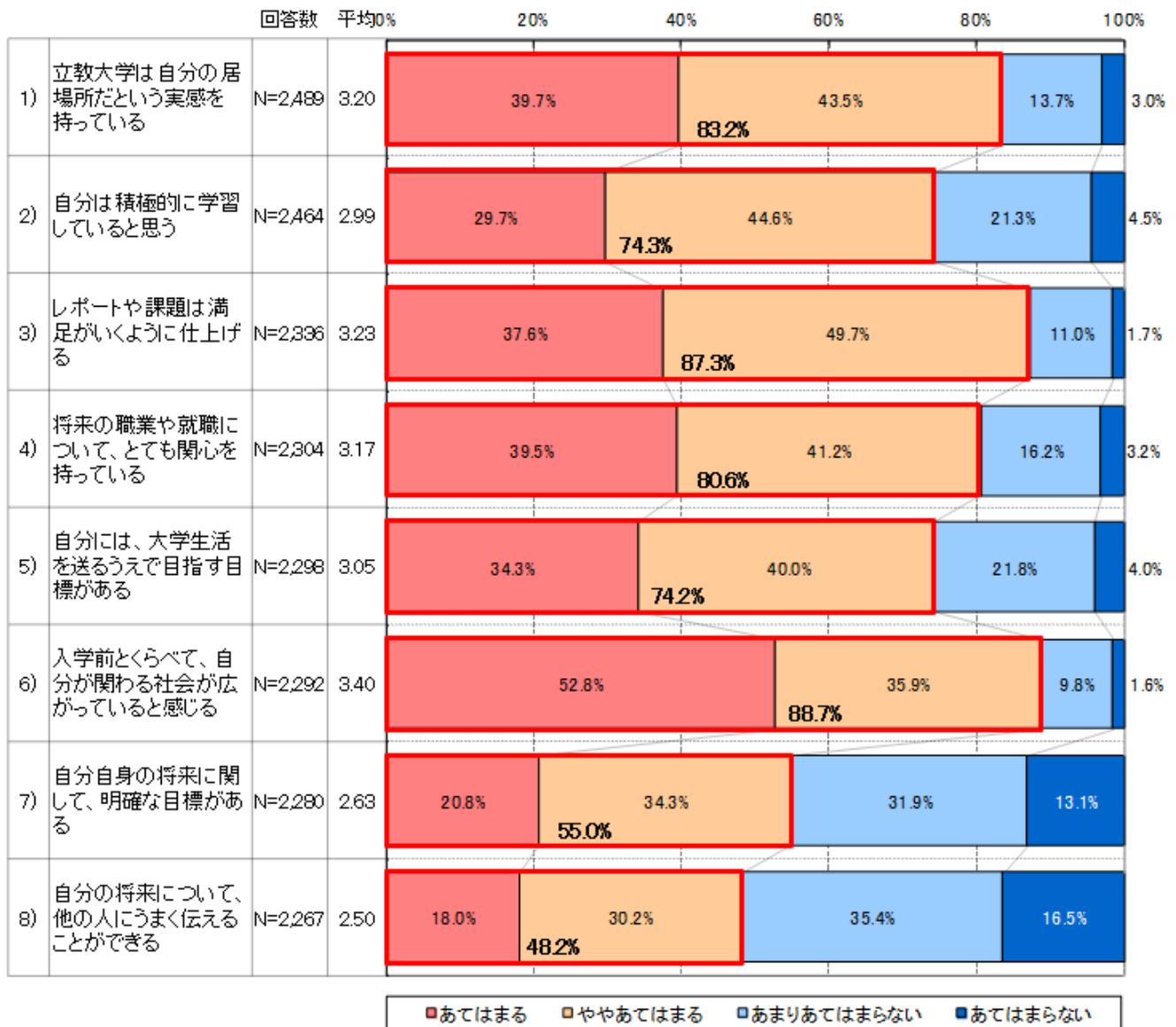
■Q5. 満足度

- 立教大学の各項目への満足度を尋ねたところ、「満足」「やや満足」を合わせると、おおむねすべての項目で 8 割以上の学生が立教大学での授業やサポートについて満足していると回答していました。肯定的な回答が最も多かったのは 1)「大学生活全般」で 94.8%でした。一方、肯定的な回答が最も少なかったのは 3)「科目編成や履修の仕組みなどのカリキュラム全般」で 79.3%でした。



■Q6. 大学生活・学修について

- 大学生活や学修についての認識について尋ねたところ、1)～6)の現在の大学生活や学習、進路に関する各質問項目では、7割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。
- 一方、「7)自分自身の将来に関して、明確な目標がある」、「8)自分の将来について、他の人にうまく伝えることができる」では「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が半数程度となっていました。



■Q7. 「立教大学 学士課程教育の目的」の学修成果

- 立教大学の学士課程教育の目的(ディプロマ・ポリシー)と関連する各項目について尋ねたところ、3)以外のすべての項目で半数以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。「あてはまる」「ややあてはまる」の回答が最も高かったのは、10)「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」で94.6%、続いて、11)「異なる価値観を持った人たちと共に活動することができる」が92.9%、12)「社会を構成する一員としての倫理観を持っていると思う」が92.7%となっていました。
- 一方、3)「自分の専門領域の卒論に相当するようなレポート、論文を書くことができる」では、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生は29.2%に留まっています。

